

このシンポジウムでは、まちづくりとEBPM(エビデンスに基づく政策決定)の視点から、共生とイノベーションについて検討します。共生は、異なるバックグラウンドや文化を持つ人々が協力し、調和のとれた社会を築くことを意味します。そのためには、多様な人々の協力だけでなく、共生を促進するイノベーションやエビデンスの重要性も考えなければなりません。

例えば、医療通訳の分野では、ITのイノベーションによって医療通訳が進化しています。共生においては、子供やジェンダー、外国人などの異なる背景を持つ人々との関わり方が重要ですが、直接的なエビデンスの取得が難しい場合もあります。そのため、EBPMの障壁や課題にも目を向ける必要があります。

このシンポジウムでは、以下の2つのポイントについて探求します：イノベーションによって、どのように共生を促進できるのか？エビデンスの取りにくい領域において、どのようにEBPMを進めるべきか？その際にイノベーションが果たす役割は？

シンポジウムでは、共生とイノベーションに関する講演やパネルディスカッションを行います。さらに、スタートアップ企業や地域の関係者との連携によるイノベーションの事例も紹介します。共生とEBPMが新たなまちづくりの手法としてどのような可能性を持つのか、皆さんと一緒に探求していきたいと思っております。

#### 基調講演者

〈基調講演 1〉

杉谷和哉 氏  
(岩手県立大学)



〈基調講演 2〉

市川顕 氏  
(東洋大学)



〈基調講演 3〉

小野悠 氏  
(豊橋技術科学大学)



〈基調講演 4〉

若林宗男 氏  
(事業構想大学院)



# 共生をイノベーションするーまちづくりのEBPM

## Day 1

1.19.fri

- 12:30-13:00 受付
- 13:00-13:20 開会式  
開会挨拶：大賀哲 (九州大学アジア・オセアニア研究教育機構文化変動クラスター情報モジュール・モジュール長)
- 13:30-14:00 基調講演1: まちづくりとEBPM  
杉谷和哉 (岩手県立大学総合政策学部・講師)
- 14:10-15:40 パネルディスカッション1:  
共生社会とEBPM  
モデレーター：大賀哲 (九州大学大学院法学研究院・准教授)  
討論：杉谷和哉 (岩手県立大学総合政策学部・講師)  
報告：大山紘平 (横浜市政策局データ・ストラテジー担当)  
報告：鈴木暁子 (京都府立大学京都地域未来創造センター・コーディネーター)  
報告：後藤香織 (福岡県議会議員)  
報告：北口勝也 (武庫川女子大学教育学部・学部長)
- 15:50-16:20 基調講演2: 地域連携とイノベーション  
市川顕 (東洋大学国際学部・教授)
- 16:30-18:00 パネルディスカッション2:  
地域連携とイノベーションの事例研究  
モデレーター：若林宗男 (事業構想大学院・特任教授)  
討論：市川顕 (東洋大学国際学部・教授)  
報告：小野悠 (豊橋技術科学大学・准教授)  
報告：市川智恵 (デロイト トーマツ ベンチャーサポート)  
報告：荒井雄介 (春日市選挙管理委員会事務局・書記)  
上野志保 (春日市選挙管理委員会事務局・事務局長)  
藤村まこと (福岡女学院大学・准教授)
- 18:30-20:30 懇親会

## Day 2

1.20.sat

- 9:00-9:30 受付
- 9:30-10:00 基調講演3: まちづくりを科学する  
小野悠 (豊橋技術科学大学・准教授)
- 10:00-10:30 基調講演4:  
事業構想計画におけるエビデンスの重要性とフィールドワーク  
若林宗男 (事業構想大学院・特任教授)
- 10:50-11:50 21世紀の地域連携の将来像  
：高校生の研究発表  
モデレーター：吉井美奈子 (武庫川女子大学教育学部・准教授)  
討論：加藤朋江 (筑紫女学園大学・准教授)  
報告：麻生才楽・田中佑樹・伊藤あやめ (リンドンホールスクール中高等学校)  
報告：川井和 (長崎県立諫早高校)  
報告：法月彩芽 (神戸大学附属中等教育学校)
- 12:00-12:50 総括・パネルディスカッション:  
共生をイノベーション  
するための未来展望  
モデレーター：大賀哲 (九州大学大学院法学研究院・准教授)  
パネリスト：杉谷和哉 (岩手県立大学総合政策学部・講師)  
パネリスト：小野悠 (豊橋技術科学大学・准教授)  
パネリスト：若林宗男 (事業構想大学院・特任教授)  
パネリスト：日野真子 (合同会社げんてん・総括部長)  
パネリスト：後藤香織 (福岡県議会議員)
- 12:50-13:00 閉会式・まとめの挨拶